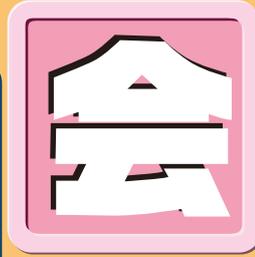


ながはま



Vol. 55

令和元年11月1日発行  
発行：長浜市議会  
編集：広報広聴委員会

だより



令和元年9月定例会が9月2日から10月1日まで(30日間)の日程で開催されました。

新しい所属委員決まる／議長・副議長就任あいさつ	2面
決算特別委員会の報告について	3面
各常任委員会の報告について	4～5面
市政を問う(会派代表・個人一般質問事項と答弁概要)	6～18面
長浜市議会の議決すべき事件等に関する条例を制定しました	19面
議会だより表紙の写真・イラスト等を募集します!	19面
議決結果・議案に対する各議員の賛否／議会の予定／お知らせ／編集後記	20面

# 新しい所属委員決まる

## 議員役員等一覧表

	【議長】 西邑 定幸	【副議長】 草野 豊	【監査委員】 西尾 孝之			
総務教育常任委員会	9名 正副 矢守 昭男 浅見 信夫	伊藤喜久雄 西尾 孝之	押谷與茂嗣 柴田 光男 鋒山 紀子 吉田 豊 中川 勇			
健康福祉常任委員会	9名 正副 松本 長治 鬼頭 明男	草野 豊 轟 保幸	佐金 利幸 高山 亨 藤井 登 宮本 鉄也 竹本 直隆			
産業建設常任委員会	8名 正副 中川リョウ 千田 貞之	斉藤 佳伸 丹生 隆明	多賀 修平 山崎 正直 中嶋 康雄 西邑 定幸			
予算常任委員会	26名 正副 山崎 正直 伊藤喜久雄	(全議員)				
議会運営委員会	8名 正副 佐金 利幸 浅見 信夫	伊藤喜久雄 中川 勇	押谷與茂嗣 柴田 光男 中嶋 康雄	千田 貞之		
広報広聴委員会	12名 正副 中川 勇 高山 亨	鬼頭 明男 丹生 隆明 山崎 正直	佐金 利幸 藤井 登 矢守 昭男	多賀 修平 鋒山 紀子 中川リョウ 宮本 鉄也		
長浜水道企業団 議 会 議 員	9名	伊藤喜久雄 竹本 直隆	押谷與茂嗣 中川リョウ	鬼頭 明男 西邑 定幸	多賀 修平 丹生 隆明	高山 亨
湖北広域行政事務 センター 議 会 議 員	12名	浅見 信夫 中嶋 康雄 矢守 昭男	草野 豊 西邑 定幸 吉田 豊	斉藤 佳伸 鋒山 紀子	柴田 光男 松本 長治	千田 貞之 宮本 鉄也
湖北地域消防組合 議 会 議 員	12名	草野 豊 中川 勇 山崎 正直	斉藤 佳伸 西邑 定幸 吉田 豊	佐金 利幸 藤井 登	高山 亨 松本 長治	轟 保幸 宮本 鉄也
長浜・米原市議会 連 絡 協 議 会 委 員	8名	草野 豊 西邑 定幸	斉藤 佳伸 藤井 登	佐金 利幸 山崎 正直	柴田 光男	竹本 直隆
敦賀・長浜・高島 三市議会協議会委員	7名	西邑 定幸 中川リョウ	草野 豊 山崎 正直	佐金 利幸	矢守 昭男	松本 長治

### 議長・副議長就任あいさつ



議長 西邑 定幸



副議長 草野 豊

市民の皆さま方には、日頃より本市議会に  
対しまして、ご理解とご協力を賜り心より感  
謝申し上げます。

この度、議長・副議長に就任いたしました  
ことは、身に余る光栄でありますとともに、  
現在の地方自治を取り巻く情勢を考えると、  
改めて責任の重大さに身の引き締まる思いで  
あります。この重責を果たすため、渾身の努  
力を傾注してまいりたいと考えております。

本市議会といたしましては、二元代表制の  
もと、議会が担う責務を果たすため、議会改  
革を今まで以上に推進するとともに、議員各々  
の資質の向上のため、研鑽に努めてまいりま  
す。また、市民の皆さんに期待され、その期  
待に応えられる議会を目指し、努力を続けて  
まいりたいと考えています。

また、議会活動に対するご意見や市政に対  
するご提言などを市民の皆さまからお聞きす  
るため、ワールドカフェ方式での意見交換会  
を開催しております。市民の皆さまに議会を  
身近に感じていただき、議会についてご理解  
を深めていただければ幸いです。

今後とも、皆さまからの負託に応えられるよ  
う、誠心誠意努力してまいりますので、ご支  
援とご協力をよろしくお願いいたします。

# 決算特別委員会報告

9月定例会で付託された平成30年度の決算議案（議案第86号から92号までの7件）について審査しました。

## 〔審査経過〕

9月17日に産業建設分科会、19日に健康福祉分科会、24日に総務教育分科会を開催し、各決算議案を所管の常任委員会を基本とする分科会方式によって審査しました。

## 〔審査結果〕

7議案をいずれも全員一致あるいは賛成多数で認定すべきものと決しました。

## —特に付言すべきとされた事項—

- 多額の予算執行については、事前の説明、事後の報告はもちろんのこと、特に投資的経費について、投資に対する成果や評価の報告を行うことは市民への説明責任の為にも必要不可欠であることから、事業に対する評価や成果の可視化に努めること。
- 元浜町13番街区市街地再開発事業については総事業費が50億円を超える事業であり、本市としても多額の市税を拠出していること、駅前を含む中心市街地活性化の観点から、議会に対し事業の進捗について適切な時期に情報提供の機会を設けること。

## 決算書をご覧ください

決算書やその説明資料（冊子）は、市政情報コーナー（本庁東館1階ロビー）、北部振興局、各支所で自由にご覧いただけます。決算書のほか、当初予算の説明書や議会の会議録などご覧いただけます。

また、議会の会議録は、市立図書館各館でもご覧いただけます。会議録は、定例会の閉会の約2か月後から公開しています。



市政情報コーナー



決算資料

## 決算審査の流れ

平成30年度の一般会計及び各特別会計の歳入歳出決算書、主要な施策の成果を説明する書類及び財産に関する調書等の書類をもとに審査します。



各分科会において、所管部署から、約30の平成30年度の主要事業の報告、約400の執行事業の説明をもとに、質疑応答を通じ審査します。（必要であれば、現地調査等を実施します。）

各分科会の審査結果報告をもとに決算特別委員会（全体会）で審査を行い、結果を本会議において報告し、審議します。



# 各常任委員会の報告

9月定例会で各常任委員会に付託された議案21件・請願2件について審査を行いました。  
(議案等の一覧は20ページに掲載しています。)

## 〔継続審査議案〕長浜市ながはま文化福祉プラザ条例の制定について等を審査

総務教育常任委員会

▼議案(条例案)7件 継続審査であった標記の条例制定については、5回の審査を重ねた結果、賛成多数で可決すべきものと決しました。なお、複合施設による相乗効果を生むため、組織体制・財政面ともに一元的な事業運営をされるよう付言しました。

その他、法改正による会計年度任用職員制度の導入及び成年被後見人・被保佐人の欠格条項に係る3件の条例改正、長浜市立学校・市民文化ホール・市民まちづくりセンター条例の一部改正3件を審査し、いずれも全員が賛成しました。

▼議案(その他)8件 滋賀県市町村交通災害共済組合が解散することに伴う議案3件、法改正による新市まちづくり計画及び合併基本計画の変更に関する議案2件、高月まちづくりセンター改修・防災行政無線デジタル化整備工事に係る工事請負契約の議案2件、滋賀県造林公社への財産譲渡議案の1件については、いずれも全員が賛成しました。

▼請願1件 請願者の意見陳述を求め審査した結果、消費税10%増税実施中止の意見書提出を求める請願については、賛成少数でした。

## 長浜市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正等を審査

健康福祉常任委員会

▼議案(決算)2件 平成30年度長浜市病院事業会計決算の認定について、及び平成30年度長浜市老人保健施設事業会計決算の認定については、慎重審査の結果、いずれも全員が賛成しました。

▼議案(条例案)2件 長浜市印鑑条例の一部改正については、旧氏での印鑑を登録できるようにするための一部改正で、全員が賛成しました。

標記の条例の一部改正については全員が賛成しました。なお、「一の支援単位を構成する児童の数をおおむね40人」とする基準について、適用除外の経過措置を、当分の間、長期休業期間に限り延長するものですが、できる限り速やかに適用し、併せて、支援員の方の待遇改善を図り、また、支援内容の質の確保等、より良い環境で事業がされるよう付言しました。



## 平成30年度長浜市公共下水道事業会計決算の認定についてを審査

産業建設常任委員会

▼議案(決算)1件 標記の決算認定について、当委員会で慎重審査の結果、全員が賛成しました。

▼請願1件 人と自然が調和する、新たな長浜駅前の賑わいの空間を創造することへの請願書について、当委員会の審査結果は「継続審査とすべきもの」とする意見が多数でした。えきまち長浜株式会社では現在アンケート調査を実施されるなど再スタートに向けての取り組みを進められており、今後の取り組み内容やマルシェの方向性等を見定めつつ委員会で引き続き審査を行うとするものです。

▼協議事項1件 えきまち長浜株式会社第1四半期の運営状況については、えきまち長浜株式会社の社長等を参考人として招致し、本年4月～6月における会社の事業実績等について報告を受けた後、委員会で活発な議論を行いました。



# 予算常任委員会審査報告

9月定例会で付託された補正予算案5件について審査しました。

まず、10月に開始される国の幼児教育・保育の無償化に伴い提出された議案第81号 長浜市一般会計補正予算（第5号）は、9月定例会初日（9月2日）に付託を受け、同日予算常任委員会総務教育分科会、続いて予算常任委員会を開催して審査。その結果は全員賛成で、本会議で報告し、同日採決されました。

その他の4議案については、9月11日に付託を受け、下記のとおり審査を行いました。特に、議案第82号 長浜市一般会計補正予算（第6号）を中心に議論が交わされました。審査の結果、4議案すべてに全員が賛成しました。

## 9月17日(火) 産業建設分科会

**【質疑】** 地福寺神照線の街路整備はなぜ北側から事業を推進するのか。

**【当局答弁】** 南側の支障物件の移転は交渉中で未確定のためできるところから着手している。

## 9月19日(木) 健康福祉分科会

**【質疑】** 戸籍住民基本台帳管理事務の一部を民間委託する際の情報漏えい対策はどんな内容か。

**【当局答弁】** 厳しい内容の仕様書にしており、職員が常に執務室の状況を把握し対応する。

## 9月24日(火)・27日(金) 総務教育分科会

**【質疑】** 防災行政無線はデジタル式に統一し屋外拡声子局を全市に整備される。既存の地域で聞き取りづらいとの声があるが解消されるのか。

**【当局答弁】** 今回の工事内容に含めて解消を図る。

分科会長報告

分科会長報告

分科会長報告

## 9月27日(金) 予算常任委員会 (委員：全議員)

各分科会から報告を受け、全委員で審査しました。特に、高月まちづくりセンターの改修に係る予算について、廃棄物処理業務委託料予算化の時期、受水槽をやめて水道の口径を上げることの是非、改修工事に基金を使うことの是非などが議論されました。

その他の意見は次のとおりです。

**【意見】** 南郷里小学校放課後児童クラブ施設の増設をリースで対応することについて、環境が悪くならないよう配慮されたい。今後、他のクラブで増設する際は、児童数の推移や需要の見込みを的確に把握・分析し、建築するか仮設にするかを見極められたい。また、運営についても施設整備と一体的に議論を深められたい。

**【特に付言すること】** 施設の改修工事について、①当初予算で債務負担行為の提案時に現計予算を伴わない場合は、補正予算を提案する時期、財源などの予定を説明できるよう計画的な事業の立案・執行をされたい。②財源等、当初の説明から変更があった場合は、特に詳細かつ丁寧に説明されたい。③基金の活用は必要性を精査し、なるべく国県の補助金を確保されたい。

全体として、慎重な審査を要する予算案の説明には、図面や画像を用いて丁寧に説明し、事業の進捗に当たっては適時に議会へ報告されたい。

## 議会（定例会）の一般的な流れをご紹介します

定例会は、年4回開かれます。

1回の会期は、およそ1か月です。

### 本会議（第1日）

- ・開会・市長から議案の提案説明

### 本会議（第2日）

- ・議案に対する質疑・答弁
- ・各担当の委員会に付託
- ・一般質問（議員個人）

（※3月と9月は「会派代表質問」）

### 本会議（第3・4日）

- ・一般質問（議員個人）

### 各委員会

当局から説明を求めて議案を審査し、可否を採決

- ・産業建設・健康福祉・総務教育常任委員会
- ・予算常任委員会（各分科会・全体会）
- ・決算特別委員会（各分科会・全体会）（9月）

### 本会議（第5日）

- ・各委員長から報告、それに対する質疑・答弁
- ・討論・採決・閉会

# 市政を問う

今定例会では、会派代表6人・個人17人の議員が一般質問を行いました。また、1人から質疑がありました。

会派代表質問(会派名)	※下記の質問項目のうち、太字部分について要約し、7～10ページに掲載しています。
○政友会(佐金 利幸議員)	① <b>市長の市政取り組みについて</b> ② <b>第三セクターの経営状況について</b> ③学校教育について ④病院事業について ⑤防犯、防災対策について ⑥東京オリンピック、パラリンピックについて ⑦2024年滋賀国スポ開催について (※2023年から国民体育大会の名称は国民スポーツ大会に改められます。) ⑧長浜市景観条例について
○新しい風(竹本 直隆議員)	① <b>財政計画について</b> ② <b>レジ袋禁止について</b> ③ <b>子ども達の交通安全対策について</b> ④ <b>長浜市病院事業について</b> ⑤多文化共生のまちづくりについて ⑥学童保育について
○日本共産党長浜市議団 (浅見 信夫議員)	① <b>財政運営と財政計画について</b> ②国民健康保険について ③福祉医療費助成制度について ④残土条例等について ⑤市民協働のまちづくりについて ⑥政治家のあるべき姿勢について ⑦えきまち長浜株式会社について
○清流(松本 長治議員)	① <b>合併後の長浜について</b> ② <b>長浜の教育について</b> ③ <b>財政計画について</b>
○尽誠(中川 勇議員)	① <b>二度の市町合併による数値化した合併効果等について</b> ② <b>「財政計画(平成26年8月策定)」の上方修正見直しの考え方等について</b> ③ <b>湖北地域消防組合事業に対する構成市としての関与等について</b> ④地域住民に寄り添った公共交通とするための乗合タクシーの運行改善等について ⑤大学医学部等との寄附講座設定に伴う長浜市病院事業への効果等について ⑥文書質問に対する回答と判決内容との整合性について
○公明党(鋒山 紀子議員)	① <b>発達しょうがい者支援について</b> ② <b>生活困窮者の自立支援について</b> ③給食費の公会計化について

## 個人一般質問(質問者順) ※下記の質問項目のうち、太字部分について要約し、10～18ページに掲載しています。

○千田 貞之議員	① <b>長浜市の財政計画について</b> ② <b>「関係人口」について</b> ③ <b>長浜市立湖北病院の今後について</b> ④長浜市内における学校の統廃合の今後の予定について
○押谷與茂嗣議員	① <b>人事評価と業務評価及び人事異動について</b>
○藤井 登議員	① <b>教育について</b> ② <b>産業文化交流拠点について</b> ③今後の医療・福祉の考え方について
○伊藤喜久雄議員	① <b>シティプロモーションについて</b> ② <b>スポーツツーリズムと地域づくりについて</b> ③働き方改革とICT利活用について
○丹生 隆明議員	① <b>旧鏡岡中学校建物・グラウンド等の利活用について</b> ② <b>防犯灯の設置について</b> ③ <b>「長浜市総合計画」3年目の詳細について</b> ④医療情報等の開示について
○轟 保幸議員	① <b>河川・湖沼におけるプラスチックごみ対策について</b> ② <b>余呉川の河川整備について</b> ③ <b>地域包括ケアシステムの深化・推進について</b>
○多賀 修平議員	① <b>市立長浜病院の診療体制について</b>
○矢守 昭男議員	① <b>空き家対策について</b> ② <b>車の安全走行への支援について</b> ③旧各町時代の観光案内看板の維持管理について
○宮本 鉄也議員	① <b>農福連携について</b> ② <b>防災無線戸別受信機について</b> ③地域おこし協力隊について ④財政計画(令和2年～令和11年度)の策定について ⑤コミュニティ放送について ⑥近江湖の辺の道について ⑦獣害対策について ⑧各支所のあり方、必要性について
○高山 亨議員	① <b>「ひきこもり」支援について</b> ② <b>防災及び災害時の避難所とその見直しについて</b> ③場外券発売場について

**個人一般質問(質問者順)** ※下記の質問項目のうち、太字部分について要約し、10～18ページに掲載しています。

- 柴田 光男議員 ①**プラスチックごみ環境問題について** ②**高齢者活躍の場について**  
③**地域コミュニティ活動について**
- 斎藤 佳伸議員 ①**学校給食(幼稚園、保育園含む)について**  
②**「お旅所公衆便所」の利用時間制限の廃止について**  
③長浜市農業の就業人口減少について ④教職員の健康管理について
- 西尾 孝之議員 ①**えきまちテラス株式会社について**  
②西尾議員がYouTubeに載せた市長の不倫の証拠について
- 中嶋 康雄議員 ①**交通安全対策について** ②**基幹道路等の整備等について**  
③**長浜新川(本川・右支川)について** ④**開発許可等について**  
⑤**わかりやすい通知と記載要領の作成について**  
⑥長浜市公共施設等総合管理計画について  
⑦長浜市健康都市宣言について
- 中川 リョウ議員 ①**ハーモニアスポーツ構想との連携について** ②**放課後児童クラブについて**  
③**ノーマライゼーションの具現化について**
- 山崎 正直議員 ①**長浜市の産科医療について** ②**2024年滋賀国スポ障スポについて**
- 鬼頭 明男議員 ①**子ども医療費無料化について** ②**幼児教育・保育の無償化について**  
③長浜市防災計画・安定ヨウ素剤について

**個人質疑**

- 中嶋 康雄議員 ①議案第82号 令和元年度長浜市一般会計補正予算(第6号)について(市民活躍課)  
②議案第82号 令和元年度長浜市一般会計補正予算(第6号)について(総務課)

**会派代表質問**



**政友会**

(佐金 利幸 議員)

◆市長の市政取り組  
みについて

問 旧長浜北高跡地に

ついて、当局からは県  
において早期に方針を  
説明してもらいたいと  
要望しているが回答が  
無いという答弁であつ  
た。しかし、これは逆  
ではないか。当局から  
積極的なアプローチで  
県も本市に対し使用す  
べき手続きが取られる  
と考える。市民から利  
活用についてアンケート  
を取る考えはないか。

答 県からは地元の思  
いや希望も受け入れな  
がら一緒に考えていき  
たいとの回答を得てい  
ますが、正式な利用照  
会はまだございませ  
ん。本市としても市街  
化調整区域として一定

の制約があるものの、  
まとまった用地でもあ  
り、本市の活性化につ  
ながるよう長期的な視  
点で検討する必要があ  
ることから、全庁的に  
検討を開始したところ  
です。

◆第三セクターの経  
営状況について

問 えきまちテラス長  
浜の経営改善計画につ  
いて、直営店舗を廃止  
しパートナーによる運  
営に移行すると聞いて  
いる。当局の話を聞く  
と場当たりの感じを  
受け、当初の計画から  
かけ離れているように  
思う。この3年間赤字  
が続いた場合、だれが  
どのような形で責任を  
取るのか。

答 今般の経営改善計  
画では、当初の施設コ  
ンセプトである「人・  
情報・場所」を実現す  
ることとしておりま  
す。子育て世代を中心  
に全ての世代が集える  
場所、女性の就業や起  
業を応援する場所とし  
て、信頼できるパート  
ナーと一緒に、当初の  
コンセプトに立ち返り  
運営していくものでご  
ざいます。先般募集を  
いたしました市民の皆  
様からのご意見を尊重  
しつつ、準備を進めて  
いるところでございま  
す。3年以内に経営改  
善計画に掲げた取り組  
みをしっかり成し遂げ  
ることが与えられた使  
命であり、これを全力  
で全うしてまいります。  
と考えております。



新しい風

(竹本 直隆 議員)



日本共産党長浜市議団(浅見 信夫 議員)

信夫 議員)

## ◆財政計画について

**問** 将来にわたって持続可能な財政運営を行うためには「あれもこれも」ではなく、「あれかこれか」の視点から事業の無駄を排除し、限りある財源を効果的・効率的に活用していかねばならないが、財政計画の修正は、先を見据えた計画といえるのか問う。

**答** 将来負担を増やさないため、「未来の長浜市民により良きものを引き継ぐ」という基本方針に基づき、人件費の抑制や投資的経費の適正化などの取り組みを進めることとしていきます。特に予算編成にあたりましては、事業の無駄を排し、選択と集中により、真に必要な事業を見極めて、限りある財源を効果的・効率的に活用し、総合計画に掲げる施策を推進します。

**問** 令和2年度から収支不足が発生し、10年後には累積の収支不足が180億円になる。長浜市の独自の考え

## ◆レジ袋禁止について

**問** 本市では、レジ袋削減・マイバック推進による地球温暖化防止とゴミの減量にどのように取り組んでいるのか問う。

**答** 本市では「滋賀県買い物ごみ・食品ロス削減推進協議会」に参画し、取り組みを進めています。事業者はレジ袋無料配布の中止や店舗でのレジ袋削減のために個別に声かけされています。本市では出前講座、イベントでの啓発やマイバック持参運動を行っています。

**◆子ども達の安全対策について**

**問** 本市の幼稚園・保育所・認定こども園のお散歩コースの点検・マニユアルの作成についてはどのように対処

## ◆長浜市病院事業について

**問** 医師確保については今年4月以降、7名の医師確保ができ、当局の努力に対しては大変評価できる。赤字幅の縮小はできたものの、更なる医師確保が必要かと推測するが見解を問う。

**答** 2024年までに医師の働き方改革が求められる中、時間外勤務の削減、勤務間インターバルの実施、年次有給休暇5日間の取得ができる環境を整えるには、更なる医師確保が必要と認識しています。

## ◆財政運営と財政計画について

**問** 決算剰余金や市債の繰上償還の一部を活用するなど、運営の仕方では市民の願い(サービスの拡充や市民負担の軽減)に対応することは可能と思われる。その取り組みについて問う。

**答** 財政運営にあたっては、将来世代の負担を増やすことなく、「未来の長浜市民によりよきものを引き継ぐ」とを信念として取り組みたいです。待機児童対策や小学校の給食費無料化、保育料の負担軽減などの子育て支援施策の充実に力を入れており、10月からの幼児教育無償化にあたっては、市の単独施策として副食費の軽減対象を拡大することとしています。

**問** 総務省は、令和元年度の普通交付税算定結果を発表した。それによると、長浜市の普通交付税算定結果は、129億9千2百万円

## ◆除雪経費や国庫採択がされた事業等の補正財源として有効に活用します。

**問** 財政計画の財政収支見通しでは、今後10年間に累積収支不足額が約180億円とされている。そのため、人件費の抑制など6項目にわたる取り組みを行うとしている。財政改革については、市民サービスを下下させないことが最も重要な視点であるが、取り組みの優先度及び手順について問う。

**答** 今後の収支不足額を解消するためには、財政計画で示した6項目すべてを着実に進めていきます。

**問** 財政計画では、投資的経費について、規模と経費の適正化を図り、事業を厳選し、年度間の平準化を図るとされているが、具体的

## ◆市では、既に整備が始まっている事業のみでも、長浜伊香ツインアリーナ整備事業、中央公園整備事業、豊公園再整備事業、田村駅周辺整備事業、市営北新団地建替事業、防災行政無線デジタル化整備事業、斎場等整備事業をはじめとした大型の普通建設事業を複数抱えています。これらに対しファシリティマネジメントを行っていきます。また、斎場やごみ焼却施設等はいずれも老朽化した施設を効率的・一体的に更新整備されるもので、整備事業費や運営費については、構成市の過度な財政負担とならないよう、米原市と連携をとり協議していきま

す。



清流

(松本 長治 議員)

◆合併後の長浜について

問 地域のあり方について、人口規模、居場所分布状況をもとに市域全体の維持・整備を行うことと、将来にわたる財政的安定の堅持が相反する状況であることは明らかである。早急に検討する段階であるのではないかと問う。

と認識しております。

◆長浜の教育について

問 これからの長浜の教育において、学区制の見直しや学校の配置、特色ある教育を提供する小中一貫校の設置など、市域外の子どもたちにも長浜で学びたいと思っていただけほどの魅力ある仕組みの構築はできないのか問う。

みが必要になってくる

と認識しております。

問 私は学校の適正な規模という概念にいささか違和感を覚える。少人数のクラスであってもよい点はたくさんある。ぜひ長浜の教育には、小さな学校、小規模学校の良い点を生かしていただきたいが、市の考えを問う。



尽誠

(中川 勇 議員)

◆二度の市町合併による数値化した合併効果等について

問 1市2町合併から来年で15年目を迎えるが当初計画での合併効果並びに未達成事項の有無等について問う。

答 「地理的な広がり」と交流の高まり「都市拠点性の向上」「行政の効率化と自治体規模の拡大」という3つの大きな効果が現れたと認識しています。他方、人口推移は増加目標としていたものの全国的な流れと同様、本市も減少傾向にあります。

問 1市6町合併から10年目を迎えているが、関係住民(特に余呉・西浅井地域)が実感できる数値化した合併効果について問う。

答 飲料水確保のための簡易水道施設の統合・上水道化や余呉バス、西浅井おでかけワゴンによる域内移動公共交通の確保、地域

医療拠点施設としての西浅井診療所改修と地域医療システムである余呉巡回診察確立、県道余呉杉本線・西浅井余呉線の整備といった住民生活の根幹をなす事業を行い、安心快適な生活の確保に努め効果が出ていると考えます。

◆「財政計画」の上の方修正見直しの考え方等について

問 大型公共事業増による上方修正に伴い、特に一般財源を必要とする市民生活、健康福祉、都市建設部門での市民要望事業への影響等について問う。

答 行財政改革を推進するとともに限られた財源でより質の高い市民サービスをを行うため、より現場に近い各部門が経営資源に係る権限を持ち地域課題や住民ニーズに対して創意工夫により成果をあげていく庁内分権型による予算編成を進めてまいります。

◆湖北地域消防組合事業に対する構成市としての関与等について

問 長浜消防署各分署等の施設整備に対する関与等について問う。

答 消防内部で検討中の「施設整備計画」策定に関わり、市の考え方をしっかりと伝え早期策定に向け意思疎通を図り取り組んでまいります。

問 「消防団等充実強化法」に基づく消防団強化施策(処遇改善等)に対する市の関与・支援について問う。

答 市消防団の幹部会議等において団員定数や処遇改善、装備・設備の充実について協議検討いただいており、市も出席する中で消防団の活動を守り維持していくため、法律に示す市の責務として取り組むことが重要と考えています。

# 会派代表質問



**公明党**

(**鋒山 紀子 議員**)

◆発達しようがい者支援について

問 継続した支援のためのシステムの構築について問う。

答 発達しようがい者の支援は、一人ひとりの特性や年齢、生活の状態に依りて、医療、保健、福祉、教育、労働の各機関の連携の下、一貫した支援を行うことが重要であると認識しています。本市では、乳幼児期から青年期にかけて、健康推進課、教育センター、児童発達支援センターに、心理判定員などの専門職を配置し、発達相談を実施しています。また、支援内容の情報をつないでいくため、子どもの成長や特性、支援情報などを記

録した「相談支援ファイル」の活用、啓発に向けて、取り組んでいくところです。今後は、乳幼児期から成人期にわたって、一貫性と継続性を持った総合的な支援の観点からよりよき支援システムの構築に取り組めます。

◆生活困窮者の自立支援について

問 就労支援について問う。

答 生活困窮者の自立支援の中で、就労支援については重要な取り組みのひとつであると認識しています。本市では、これまでから社会福祉課に生活困窮に関する総合的な相談窓口を設置し、就職活動の相談や、ハローワークへの同行などの

支援を行ってまいりました。今年度からは更に、自立相談支援員を1人増員し、3人体制で取り組んでいます。また、就労支援のノウハウを持つ民間事業者に就労支援業務を委託し、連携して取り組んでおります。まず、対象者の状態をアセスメントし、就職活動の開始に向けて、段階的な準備支援を行ったうえで、適切な働き方とのマッチングにより就労につなげます。引き続き、生活困窮者の自立に向けた支援を強化してまいります。



# 個人一般質問

**長浜市の財政計画について**



**千田 貞之**

(**政友会**)

問 令和2年度から令和11年度の財政計画の収支見通しについて問う。

答 本市においても、少子高齢化による社会保障費の増大や税収を担う生産労働人口の減少等により、今後益々の財政状況の悪化は避けられない状況です。既存事業の見直しや、行政経営改革を進め、限られた財源を効果的・効率的に活用し「持続可能な行政経営が行える財政構造の確立」を目指します。

関係人口について

問 「関係人口」に対して本市の取り組みについて問う。

答 交流人口と定住人口の間にある「第3の人口」の考え方、それが「関係人口」です。本市の関係人口に関する取り組みの代表例は、「東京―長浜リレー

**長浜市立湖北病院の今後について**

問 北部地域における、へき地医療拠点病院であり湖北病院の現状と将来について問う。

答 湖北病院は、高

齢化率が高いエリアが多い北部地域においてへき地医療拠点病院として、また、国保直営診療施設として地域に必要な医療サービスの提供に加え、医療と密接に関係する介護、福祉サービスまでを総合的、一体的に提供する「地域包括ケアシステム」の拠点となるよう事業を進めています。

今後につまみしても、現在の取り組みを継続し、「地域包括医療・ケア」を実施することで地域の暮らしを支えていきたいと考えています。

病院施設につきましては、湖北病院が担う医療サービス内容が適切に提供できる施設の規模等が重要な課題となります。

現在、県において進められている湖北圏地域医療構想の実現に向けた病院機能再編の協議内容と非常に深い関わりがありますので、今後の動向を踏まえ、整合性を図りながら必要な整備を進めていきます。

# 個人一般質問

## 人事評価と業務評価及び人事異動について



押谷 與茂嗣 (新しい風)

**問** 人事評価制度を導入したことによる効果、課題について問う。

**答** 人事評価制度は職員的能力や業績を適正に評価し、職員一人ひとりの能力や意欲を高め、組織全体の士気高揚を促すことによつて、市民サービスの向上を図ることを目的に、平成28年度から本格的に導入しています。効果としては3点あると考えています。

1点目は、能力評価シート及び業績評価シートを全ての職員が作成することで、年間を通じた業務目標や自己課題を把握することができま

課員のより良いコミュニケーションの機会となり、業務の進捗や職員的能力・特性を確かめることができま

3点目は、年度当初に立てた目標等に対して、適切な評価を受け

モチベーションの維持向上や自己成長・能力開発につながります。

一方、課題については2点あると考えています。

1点目は評価基準の平準化です。所属間で評価基準・評価目線に差異が生じないよう、次長による部内の調整や、評価者研修で評価基準の共通認識等を図っています。

2点目は、少なくとも年間3回育成面談を行うことで、所属長と

勤勉手当や昇給、昇格に反映をしています。が、モチベーションの向上や人材育成の観点から、更に積極的な活用を検討します。

**問** 将来を見据えた中で、今後の人事評価及び人材育成について、市の考えを問う。

**答** 人事評価制度の今後の運用として、所属長からの評価だけでなく、多面的評価を取り入れることにより、今の人事評価制度では把握しにくかった職員の日常行動や仕事の成果などについて、実態に即した指導や助言を行えるようにしたいと考えております。

人事評価制度を人材育成に活用していくことで、10年後、20年後の長浜市を見据えた、やる気と責任を持った、市民に信頼される職員を育ててまいります。

## 教育について



藤井 登 (清流)

**問** 全国学力テストについて、長浜市の学力向上に向けての対策をお聞きしたい。また上位の県から勉強方法を学ぶのが最善と考えるが、どのような考えをお持ちか問う。

**答** 全国学力・学習状況調査だけで、全ての学力が測れるものではないと考えています。が大変重要な調査であると捉えております。今年度より説明責任を果たし具体的な改善を図るべく、結果公表に踏み切りました。本市からは、過去に福井県に2名の教員が1年間派遣されており、またICT活用を含め、学力向上に関わる先進地視察として、高

知県や茨木市にも関係職員を派遣し、調査・研究を行っておりま

す。本年を本市の「教育改革元年」と位置付け、現在現場の先生方や有識者からの幅広いご意見やご助言をいただきながら、教育施策や未来の学校づくりに活かすべく、プロジェクトを進めており、新しい「長浜の教育」の構築に全力で取り組んでいます。

**産業文化交流拠点について**

**問** 今年12月に「産業文化交流拠点施設 さざなみタウン」がオープンする。二人に一人ががんになる時代。図

書館の一部をがんの相談場所に、またがん患者団体や癌治療学会認定がん医療ネットワークシニアナビゲーターを配置するなど、図書館をがんに関する発信基地にしてみてもどうかと考える。当局の見解を問う。

**答** がん診療連携拠点病院としてがん相談支援センターを設け、年間1600件余りの相談に応じています。図書館での相談対応は、現在は実施する目的はありませんが、図書館に来館される患者さんで、相談対応が必要な場合、図書館からがん相談支援センターに案内できるシステムづくりができればと考えています。本市として、がん患者団体や有資格者の方々の後押しは、させていただきますと考えております。

シテイプロモーションについて



伊藤 喜久雄

(清流)

問 東京オリンピック・パラリンピックを契機とした今後のシテイプロモーションの展開にあたって、長浜市の強みである「歴史」や「自然」、そこから醸し出される「生活文化」などの「地域ブランド」を、世界に売り込むための戦略指針や専任職員の配置などの取り組みについて問う。

答 今後、専任職員が必要ことや配置についても検討していきます。

問 東京上野に開設している「びわ湖長浜観音ハウス」が来秋には閉鎖されるが、長浜市の都市ブランドの一つである「観音文化」を今後どのように発信していくのか問う。

答 観音プロジェクトの新たな段階につなげていくため、持続可能な取り組みとして受け皿を担っていただく市民や団体で構成す

る「プラットフォーム」を検討していきます。

問 市民と協働して「地域の魅力」(地域ブランド)を発信していくため、行政計画化し、継続的に取り組むことが必要と考えるが当局の考えを問う。

答 現在の取り組みが継承されるよう、市民と協働したブランド化に向けて行政計画への落とし込みも検討してまいります。

スポーツツーリズムと地域づくりについて

問 「共生社会」実現への契機となる「しようがいのある人が身近にスポーツをできる環境」「しようがいのある人無し人が共にスポーツを楽しむ地域共生社会づくり」の取り組みについて、考えを問う。

答 「しようがい者スポーツ」を通じた「地

域共生社会」実現のため「市民協働」で取り組んでいきます。

問 国民スポーツ大会滋賀大会・全国障害者スポーツ大会の開催に向けた受入態勢について問う。

答 来年度に、あらゆる機関・団体を組織する準備委員会を立ち上げ、しつかり取り組んでいきます。

働き方改革とICT利活用について

問 行政サービスの維持と向上のためICT利活用は必要不可欠であり、第3次長浜市ICT利活用プラン策定と、専門職員の人材育成・配置について問う。

答 A-1やRPAの活用は重要課題であり、有識者や通信事業者の意見をプランの中に位置付けていきたいと考えています。専門職員については、外部から即戦力となる人材を確保することも必要だと考えています。

問 旧鏡岡中学校の利活用について今後どのように計画されているのかを問う。

答 現在余呉小中学校の施設として管理しているところです。

問 グラウンドの跡地は余呉町老人クラブによるグラウンドゴルフ大会などに使用され、除草作業等の維持管理もされているのが現状である。また、特に設置されているトイレは現在利用不能の状態にあり、老人クラブの方々は、遠く体育館のトイレまで行かねばならず、不便を余儀なくされている。

答 グラウンド内のトイレは学校での利用が

旧鏡岡中学校建物・グラウンド等の利活用について



丹生 隆明

(尽誠)

なく老朽化も著しいことから、現在閉鎖しております。今後学校施設として使用する見込みがないこと、維持管理の負担が大きいことなどから、学校開放事業などによる利用の際には体育館のトイレを使用するようお願いいたします。改修の必要性につきましても、利活用の方針を決定していく中で検討すべきと考えます。

問 丹生ダム建設に伴う新設バイパスとして丹生地先から丹生間の道路が整備された。しかし現在、防犯灯(街路灯)がなく夜間通行時の安全対策の面からも対策が必要と考えるが見解を問う。

答 平成28年度から30年の3年間を集中整備期間として、自治会や地域づくり協議会のご要望ご意見に基づき総事業費9千万円を投資し、市内全域で8千灯

余りを整備してまいりました。現在は新興住宅への新規設置補助及び修繕のみとしております。整備は一定完了し、防犯環境は強化されたものと考えております。

「長浜市総合計画」3年目の詳細について

問 事業の選択と集中、徹底的なスクラップ・アンド・ビルドと第1回定例会の市長提案説明で言われているが各施設の改修改築のもと、財源を圧迫させない施策を講ずべきと考えるが見解を問う。

答 長期的な視点から公共施設等を総合的に計画的な管理を行うため、平成27年3月に長浜市公共施設等総合管理計画を策定し、施設総量の削減に向けた取り組みを進めているところです。具体的には、公共施設等の適正規模や適正配置、長寿命化等を踏まえた今後のあり方や管理方針を、個別施設計画に定めています。

河川・湖沼におけるプラスチックごみ対策について



轟 保幸

(政友会)

**問** 本市における河川・湖沼のプラスチックごみの現状と認識について問う。

**答** マイクロプラスチックごみが世界的な問題とされている中、滋賀県では平成28年に、びわ湖において実態調査がされ、マイクロプラスチックの存在の結果が出されました。本市においても各自治会等での河川清掃で回収されたごみの中には、ペットボトルを中心にプラスチックごみが多く含まれている現状で、ごみのポイ捨てが多いという現状を認識しています。

**は** どうか。

**答** 市では、自治会や地域づくり協議会とパートナーシップ協定を締結し、地域と市が協働で不法投棄を防止する活動として、不法投棄防止パトロールや散乱ごみの収集、啓発活動に取り組んでいます。プラスチックコーティング肥料については、河川に流出しないよう、国より適正な利用方法が民間販売店等に通知されています。市としても農協等と協力し、適正な利用の指導・啓発に努めます。

**余呉川の河川整備について**

**問** 余呉川の河川整備の現状と進捗状況はどうか。

**答** 湖北圏域河川整備計画に基づき、国道8号賤ヶ岳橋付近から0.8km区間が実施区間で、現在、橋りょう工事として整備が進められています。橋りょう架替後は引き続き河川改修工事が進められます。

**問** 計画以外の中流部危険箇所今後の整備方針はどうか。

**答** 県では、余呉川も含め管内の河川の適切な管理を行うため、樹木伐採、堆積土砂撤去、護岸補修等緊急性の高い箇所から実施され、今後も引き続き適切な維持管理に努めていくとしています。市としても、地域からの危険箇所情報を逐一、県へ伝えるとともに予防的見地から早期対策を県に求めていきます。



市立長浜病院の診療体制について



多賀 修平

(政友会)

**問** 予約した診療時間の常識的な待ち時間について問う。

**問** 待ち時間の短縮と改善策について問う。

**答** 医師不足のため、待ち時間の短縮と改善策について問う。

**答** 受付後、診察を受けるまでに30分を超過すると80%以上の方がストレスを感じるという調査結果があります。

**答** 医師不足のため、予約患者を優先していただきますが当日患者を受け入れており予定外の処置や検査が必要になることもあり、更に救急患者の対応にあたるため、結果的に待ち時間が長くなっています。

**問** 予約した当日の待ち時間の実態について問う。

**答** 平成29年の調査では平均約1時間という結果で、平成30年の調査では20分の改善を図ることができました。更なる短縮に向けて取り組みを行ってまいります。

**問** 予約した当日の待ち時間の実態について問う。

**答** 平成29年の調査では平均約1時間という結果で、平成30年の調査では20分の改善を図ることができました。更なる短縮に向けて取り組みを行ってまいります。



空き家対策について



矢守 昭男

(政友会)

**問** 危険空き家について、特に自治会への対応、空き家の把握と認識、相続放棄の手続きなどによる苦情、解体費用増等課題への対応、対策について問う。

**答** 今後の対策を検討するため、昨年度自治会に対して空き家に関するアンケート調査を実施しました。結果、一部の自治会では毎年写真を撮って所有者に送付するなど危険意識を持って取り組んでおられました。10自治会で「倒壊している空き家がある」と回答があり、既に相談を受け、特定空き家等に認定し、所有者に対して解体修繕の指導勧告を行っています。これまで

で61件を特定空き家等に認定し、現在26件の解決が図れています。解決が図れていないものが、相続人がなく管理する人がいないものが8件あり、これらに対して財産管理制度を活用し、解決に繋げたいと考えております。また空き家の解体費が高額で解体が進まない現状があります。管理は所有者の責務であることから、所有者に対して粘り強く対応を求めていくとともに、危険空き家の解消に向けて、自治会や、関係団体と一緒に取り組んでまいりたいと考えております。

**問** 移住定住推進の専任担当者設置について問う。

**答** 長浜市では、いざない湖北定住センターを始め、不動産事業組合や古民家再生団体など、6団体が構成する

「長浜市移住定住促進協議会」に対し、移住相談、情報発信、移住セミナーの開催などの居住者支援総合窓口を委託し、移住しやすい環境づくりや不安を解消できる生活基盤づくりに努めています。民間活力の導入により、空き家バンクの運営など専門的ノウハウが發揮され、更に継続した取り組みや民間団体同士の協力が期待されます。その結果、本市への移住者数も年々増加傾向であり、引き続き効果的な移住定住の推進を図ってまいります。



農福連携について



宮本 鉄也

(新しい風)

**問** 以前から農業と福祉の融合を図り、農業にも福祉にもメリツトを出そうとする活動が全国で行われているが、どのように考えているか問う。

**答** しょうがい者就労施設等の農業への参入や作業受託が進むことで、しょうがいのある方の働く場の確保やそこで働く方の賃金・工賃の向上に加え、体力や社会性の向上、地域との交流の促進等、しょうがいのある方の生活の質の向上が期待されます。農福連携の取り組みが推進される中で、農業関係の方々に、しょうがい者雇用の理解が進むとともに、しょうがいのある方だけでなく生活困窮など福祉分野における人材が、「農

業」という場で活躍することで社会参画が促され、住み慣れた地でいきいきと暮らしていけるよう農福連携が推進されていくことを望みます。

防災無線戸別受信機について

**問** 住民の皆様からラップ放送だけでは十分に伝わらない、高齢世帯では戸別受信機が命を守るために絶対必要だと、言われる。それでも戸別受信機の整備はしないのか。

**答** 今回の同報系防災行政無線の整備は、国の電波行政の変更による影響を受けており、現在のアナログ防災行政無線と戸別受信機が使用できなくなること

から、デジタル化の再整備を進めているところです。今回、デジタル防災行政無線を整備する中で、戸別受信機の導入も検討した結果、デジタル波の特性から宅内で安定的に電波を受信することが技術的に難しい点などの結論が出たことから、屋外拡声子局施設でのお知らせ伝達手段となりました。不安の解消に向けた戸別受信機に代わる伝達手段として「安全・安心メールや緊急速報メール」の配信、各種報道機関からの情報発信に繋ぐ「災害情報共有システム（アラート）」のほか、IP告知システム、新たに「緊急告知防災ラジオ」などを活用し、多様な情報伝達手段により情報を発信することとしております。

「ひきこもり」支援について



高山 亨

(日本共産党)

**問** ひきこもり者が全国で推計61万人(40歳〜64歳)。15歳以上を併せると110万人超と政府は発表したが、長浜市の把握状況と支援策について問う。

**答** 県社協の7月調査によれば、長浜市では157人(速報値)とされており、平成30年度に健康推進課が対応したケースは85人です。生きづらさと孤立の中で日々葛藤していることに思いを寄せながら、時間をかけて当事者の気持ちを受け止め、安心して過ごせる場所や、自らの役割を感じられる機会へつなげる支援が必要です。

これまでのように担当各課・各センターや協議会等が役割を担いつつ、昨年度より多機関協働による包括的支援体制構築事業に取り組んでおり、横断的な相談体制を強化してネットワーク化とともに、協力し合える支援体制を構築してまいります。

防災及び災害時の避難所とその見直しについて

**問** 避難先だった高校の解体、新しいまちづくりセンターが避難所に指定されていない現状や、プライバシー確保のための段ボール障壁・ベッドの確保、スマホ充電器の配備、ペット避難対応など、劣悪な避難所環境を整備する必要性を感じる

**答** 避難先だった高校の解体、新しいまちづくりセンターが避難所に指定されていない現状や、プライバシー確保のための段ボール障壁・ベッドの確保、スマホ充電器の配備、ペット避難対応など、劣悪な避難所環境を整備する必要性を感じる



が、市の対応を問う。

**答** 市内の人口分布の変化、合併後の公共施設の見直し、耐震等の整備状況の中で指定避難所の検証と見直しを国の指針に基づいて行っています。新たな視点として、民間施設の協力活用も考えています。まちづくりセンターも、今後の避難施設として検討中です。その他、ペット飼育の居場所の確保等可能な範囲での協力を考えており、今後とも厳しい状況下でも快適な場所となるよう「避難所運営マニュアル」の見直しを進めてまいります。

プラスチックごみ環境問題について



柴田 光男

(清流)

**問** プラスチックごみは、河川・びわ湖の環境汚染や生態系への影響、大気汚染、地球温暖化の原因となるなど大きな問題となっているが、条例制定や市民啓発等の取り組みについて問う。

**答** 消費行動の実践に向けた啓発を行い、「マイバック持参運動」や事業者団体、行政が「滋賀県レジ袋削減の取り組みに関する協定」を締結して環境問題対策を推進しています。

**問** 子ども達への環境学習について問う。

**答** 「やまのこ学習」「つみのこ学習」の体験的な環境学習に取り組み、清掃活動等を通じて「自分なら何ができるか」環境問題に行動を促しています。

**問** 高齢者活躍の場について 企業OBの経験・

技術・技能を活かせる雇用支援について問う。

**答** 多くの方がシルバー人材センターへ登録し従事しておられ、センターとしてさらに会員数の増強に向けて、企業に出向き魅力ある仕事の開拓と情報提供に努め雇用支援をされています。今後も、元気な高齢者が地域でいきいきと活躍されるよう市も支援していきます。



**問** 高齢者の経験・知識を活かし、教育の場で「地域の歴史・文化・農業」等へ支援員として活躍できる取り組みについて問う。

**答** すでに多くの学校で、地域の方々から様々な体験活動や校外学習に支援いただいております。教科書だけでは得られない知識、体験をすること子ども達の「生きる力」となっており、更に今後

も推進していきます。

地域コミュニティ活動について

**問** 自治会役員の高齢化や、自治会員未加入が問題になっているがその対策について問う。

**答** 長浜市も役員のなり手不足や会員未加入の傾向もあり今後の課題となっています。対策として、活動困難な小規模自治会が、他自治会と連携・連合できる環境づくりを進めています。連合自治会では「人口減少を見据えた取り組み支援事業」において地域課題の解決に向けた取り組みを始められ市もしっかり支援していきます。

**問** 近年の自然災害の教訓から防災の自治会活動について問う。

**答** 災害時における自治会等の「地域防災力」は地域住民にとって極めて心強く、自主防災組織の役割は大変重要です。ソフト・ハード面で支援し取り組みを推進していきます。

# 個人一般質問

## 学校給食（幼稚園・保育園含む）について



斉藤 佳伸 (日本共産党)

**問** 学校給食の食材の安全は大切だと思いが、誰がいつどこで管理をしているのか、「地産地消」という点での地場産の比率はどうか、また栽培・生産履歴も今後大事になるが、どうされているのかを問う。

**答** 毎月の給食物資の見積もり時の「内容表示」により、産地、アレルギー物質、原料の配合割合などを栄養教諭が確認し、食品によつては「細菌検査報告」や「残留農薬報告」の提出による確認も行っています。給食センターへの納品時には、検収表に基づき調理委託業者や栄養教諭

が、鮮度、異物混入及び異臭の有無、消費期限などの検収も行っています。地場産の比率は、主要な16品目について、平成30年度は約30%です。栽培履歴については、購入先の登録業者において、農家から提出されたもので管理されているため、提出までは求めています。



## 「お旅所公衆便所」の利用時間制限の廃止について

**問** 過去に度々回答されてきたが、本年4月にも多くの賛同者の要望書が提出されている。犯罪発生を懸念していることであれば、全この公衆トイレも同様であり、いつでも使用できる公衆トイレの実現について考えを問う。

**答** 当便所は、午後6時から翌朝9時まで閉鎖しており、過去には他所において事件等が発生し、当便所においても破損被害を受けため、24時間開放は行っていません。来年度は、犯罪抑止から防犯カメラの新設等を検討し、多くの利用者が見込まれる曳山祭りや花火大会等は、これまでに引き続き柔軟に対応していきます。

**問** えきまちテラスには補助金を出している。支援もしている。市民の税金を使い、どれだけの効果があったのかについて問う。

**答** えきまち長浜は、都市再生推進法人として公の役割を担っております。その一つの取り組みとしまして、駅周辺の五つの駐車場の運営管理を一元化して、1時間完全無料化を実施しております。このサービスの導入によりまして、昨年の8月から今年の7月までの1年間で、利用台数は昨年と比べて純粋に約5万5千台増えております。

これはえきまちテラスのみならず、駅周辺や中心市街地の集客に對する大きな成果であったと考えております。一方で、直営店の運営など商業施設としての運営には大変苦戦をしておりますので、これにつきましては先にお示ししました経営改善計画に基づきまして、しっかりと改善するよう指導してまいりたいと考えております。

## えきまちテラス株式会社について



西尾 孝之 (無会派)

**問** えきまちテラスには補助金を出している。支援もしている。市民の税金を使い、どれだけの効果があったのかについて問う。

**答** えきまち長浜は、都市再生推進法人として公の役割を担っております。その一つの取り組みとしまして、駅周辺の五つの駐車場の運営管理を一元化して、1時間完全無料化を実施しております。このサービスの導入によりまして、昨年の8月から今年の7月までの1年間で、利用台数は昨年と比べて純粋に約5万5千台増えております。

**問** えきまちテラスは、中心市街地の集客に對する大きな成果であったと考えております。一方で、直営店の運営など商業施設としての運営には大変苦戦をしておりますので、これにつきましては先にお示ししました経営改善計画に基づきまして、しっかりと改善するよう指導してまいりたいと考えております。

**答** えきまち長浜株式会社に対して今も補助金を出している。どれだけの効果があったのか再度問う。

**答** 昨年と一昨年を比べますと、えきまちマルシェの売り上げが倍になったことから、集客としては倍になった

とご報告をさせていただいたところで、また、駅前のにぎわいを創出するために、あらゆる方策で、いろんな手だてで、いろんな仕掛けでにぎわいをつくる必要があります。1時間無料もその一つ、えきまちテラスの存在もその一つでございます。駅前のにぎわい創出のための一つの手段、一つの仕掛けとご理解いただきたいと思っております。

将来的にはさまざまな仕掛けをもっともつとつくり上げて、多くの皆さんが来ていただく、駅前のにぎわいを創出していくというのが市のミッションであると考えているところであります。

# 個人一般質問

## 交通安全対策について



中島 康雄

(新しい風)

聞いてください！  
大協議を  
市民の活用  
とるお活用  
現場の活用  
とるお活用  
も切なる切

**問** 4車線道路等長い距離を横断して登校する通学路の安全対策を問う。  
**答** 児童生徒の通学路の安全確保については、大変重要な課題と認識しており、今後より安全な環境整備にあらゆる方法に係機関と協議しながら検討を行います。

**問** 国道8号北進ルート<sup>①</sup>の検討について問う。  
**答** 地元の機運と要望を踏まえ、ルート選定に関わってまいりま

**問** 都市計画街路地幅寺神照線について、防災上の観点からも早期に庁舎から北、神照運動公園までの整備を急ぐべきと考えるが、市の考えを問う。  
**答** 大きな事業費と時

間を要するためしつかりと事業計画を立て事業を進めます。

**問** 都市計画街路大成亥山階線について、宮司・小堀等民間開発や協議が進んでいる実態と地元要望に対し市は、どのように関係する地元の願いを受け止めているのか問う。  
**答** 宮司地先からの要望等踏まえ地元と連携して事業進捗を図ります。

**問** 長浜新川（本川・右支川）について  
**答** 新川の重要性と役割をどのように認識しているのか問う。  
**答** 未整備区間の早期整備完成をすることが重要かつ大きな効果があると認識していま

**問** 人工河川なのに森林化している実態について問う。  
**答** 樹木繁茂解消に向け効果的な対策が講じられるよう県に対して働きかけます。

**問** サイフォン、井堰管理について問う。

**答** 適切な管理をしています。  
**問** 管理道路の安全性について問う。  
**答** 道路パトロールを実施し、適切な維持管理をしています。

## 開発許可等について

**問** 少子高齢化に伴い本市の実状に応じた改正について問う。  
**答** 必要に応じて条例や基準の改定等を通じて運用します。

**問** 新たな地区計画制度として「地域産業振興型」「大規模開発型」を提案するが、見解を問う。  
**答** 土地利用が生じたときに、その必要性に応じて対応します。

## わかりやすい通知と記載要領の作成について

**問** 市からの通知について、同じ封筒でなくお年寄りにわかりやすい改正と、市への報告を一括で出来るよう提案するが、見解を問う。  
**答** 記載要領は、イラストや記入例を記載する等、より市民目線に立った内容にしていくよう努めます。

## ハイモニアスポーツ構想との連携について



中川 リヨウ

(無会派)

**問** 近年、自治体間の広域・地域間連携が目浴びている。異なる県をまたいだ広域連携や地域内に集中した連携など展開は多様であり、長浜市ももっと踏み込んだ地域間連携を進めなければならぬと考える。敦賀市のハイモニアスポーツ構想との連携は重要道路整備にも直結し、北部地域の産業振興、観光振興、住環境整備にも多くの期待が寄せられると思われるが、ハイモニアスポーツ構想及び基本計画に掲げる「地域間協調」を市としてどのように捉えているのか問う。  
**答** 人口減少により労働力人口や内需の減少を避けられない中、北陸新幹線敦賀駅開業といった絶好の機会に、周辺地域との競争で活力を奪い合うのではなく、相互の強みを活かして発展するという「地域間協調」を本構想の理念に掲げられていきます。

であり、例えば、観光の面ですべて両市の豊かな観光資源を活用した広域観光が進められているところですが、今後、敦賀市に隣接する本市北部地域において、観光を軸とした地域振興が期待されます。このように、地域間が競争するのではなく、地域間が協調して広域的な取り組みを進めていくことが新たな価値の創造につながっていくものと考えております。敦賀市とのハイモニアスポーツ構想に基づき、地域間協調については、構想であるが故に、本市への個別具体的な方策が定まっております。今後、両市や双方の地域が広域的に取り組むことで、より効果が上がる産業・経済施策について、しっかりと議論を行い、実施に移していければと考えています。

## 放課後児童クラブについて

**問** 放課後児童クラブは今後も益々その重要性が高まっていく。支援員の確保など多くの問題を抱えているが、民間の放課後児童クラブへの抜本的な改善策について問う。  
**答** 待機児童対策として、民間の放課後児童クラブの新規参入を促進するよう、今年度から新たに家賃補助制度を設けたところですが、引き続き、民間クラブが参入できるように、しっかりと支援をしてまいりたいと考えております。

**問** ノーマライゼーションの具体化について  
**答** 南部の駅のバリアフリー化は進んでいるが、北部ではまだできていないところがある。駅の利用者増加のために、早期にバリアフリー化を進めるべきと考えるが当局の見解を問う。  
**答** 国土交通省の「公共交通機関の旅客施設に関する移動等円滑化ガイドライン」に、利用者3千人に満たない無人駅施設についても施設整備を行うことと、及びその際の配慮事項が示されていますので、バリアフリー化の早期達成に向けて、今後も粘り強くJRに求めています。

# 個人一般質問

## 長浜市の産科医療について



山崎 正直 (新しい風)

**問** 長年湖北圏域の産科医療にご尽力いただきましたが、医療法人佐藤クリニック様が今年11月末までの予約受付をもって、分娩の取り扱いを中止される。このことは7月1日発行の広報ながはまにて告知がされ「妊婦及びその家族が安心・安全な出産を迎えることができないよう順次調整がされていきます。」とあるが、どのように調整されるのか。

**答** 滋賀県内の周産期医療体制は、正常な妊娠・分娩の場合は身近な地域の医療機関で対応し、ハイリスク妊産婦・新生児は、周産期母子医療センターや周産期協力病院などの連携により対応することとしております。今

回の件につきましては、佐藤クリニック様から直接患者様に対し、すでに広報させていただいている五つの医療機関をご紹介いただき、安心して出産を迎えられるよう調整いただいていると聞いております。

## 2024年滋賀国スポ障スポについて

**問** これを好機とらえスポーツを通しての地域活性化のためにも、オール長浜で受入態勢にあたるべきではないか。

**答** 国スポ障スポでは全国から選手団やその家族、大会関係者、一般観覧者など、多くの方々が本市を訪れることとなります。これ

は、本市の多彩な魅力を全国にアピールする絶好の機会となることから、豊かな自然や歴史・文化、食といった長浜の魅力を大いにPRし、長浜に触れていただくことで、ひとりでも多くの方にリピーターとなってもらえるよう、しっかりと取り組むたいと考えているところです。そのためには、あらゆる機関・団体の皆さんにお願いいたたく準備委員会を来年度に立ち上げ、そこでオール長浜で取り組むための方針や組織づくり、具体的内容についてしっかりと検討してまいります。



## 子ども医療費無料化について



鬼頭 明男 (日本共産党)

**問** 子どもの医療費助成制度の拡充が全国の自治体で広がっている。厚労省の調査(2018年)では、高校卒業まで助成している市町村は、通院・入院とも3割、中学校までと合わせると、通院・入院も約9割に達した。自治体間の格差をなくすためにも、国に全国一律の助成制度を求めることが重要である。これだけ広まってくると、子育て世帯の方から長浜市も医療費無料化を一学年でも拡充してほしいとの声が上がっているが、滋賀県では、2019年4月現在、通院の場合、就学前まで無料は、長

浜市、守山市、栗東市、野洲市、湖南市だけとなっている。長浜市を除く他の4市は、拡充への動きも出てきている。この点について、長浜市だけ取り残されているように思うが、拡充について本市の考えについて問う。

**答** 子育て世帯に対する支援策については、各市町でさまざまな施策を展開されております。その中で、子ども医療費拡充も一つであります。本市におきましては、小学生の学校給食費無料化を県内で先駆けで実施するとともに、多子世帯への保育料軽減も実施しているところがございます。

## 幼児教育・保育の無償化について

**問** 無償化に伴う今後の市の負担について問う。

**答** 国の幼児教育・保育の無償化制度における次年度以降の市の負担額は、概算で約4億5千万円と見込んでいます。なお、無償化にかかる地方負担分につきましては、地方消費税の増収分と地方交付税の増額で対応することとなります。



## 「委員会提出議案（第2号）」を可決 長浜市議会の議決すべき事件等に関する条例を制定しました

長浜市議会の議決すべき事件等に関する条例を制定しました。本条例は、地方自治法第96条第2項の規定に基づき、条例や予算等のこれまでから市議会が決定してきた事項に加えて、市長が市政全般にわたる重要な計画を策定する場合等には議決を必要とするもので、議決機関としての議会の機能を強化するとともに、市民に対する透明性の高い市政をとともに担っていかうとするものです。

### 〔制定の経過〕

- ・平成30年5月 - 議会活性化検討委員会から議長へ条例（案）を含めた答申を実施
- ・令和元年7月2日～31日 - 議会パブリックコメントを実施
- ・令和元年9月定例会開会日 - 議会運営委員会から議案を提出し、全員一致で可決

### 〔対象とする計画〕

- ・次の条例を策定、変更、廃止する際には、議会が審議し、決定（議決）を行います。  
（軽微な変更及び計画期間満了時の廃止を除く。）

長浜市総合計画（基本構想及び基本計画）、長浜市都市計画マスタープラン、長浜市健康増進計画（健康ながはま21）、高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（ゴールドプランながはま21）、教育大綱（長浜市教育振興基本計画をもって代える場合は、同計画）、長浜市環境基本計画、長浜市合理化事業計画※1、長浜市定住自立圏形成方針※2

※1 ※2…これまでから議決事件として定めていたもの

### 〔その他の計画〕

- ・市長等の定める計画は、従来から一定議会に協議・報告を受けていますが、今後は、対象とする計画以外についても、議会の指定する計画の策定、変更又は廃止時は、必ず議会へ報告する必要があると定められました。

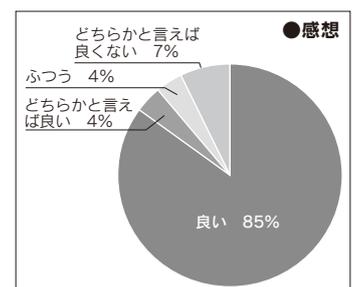
## 議会だより表紙の 写真・イラスト等を 募集しています！

- ・未発表のもので、写真は長浜市内で撮影したものに限りませう。
- ・編集上、作品のトリミングを行う場合がありますので、ご了承ください。
- ・風景、人物は問いませんが、被写体の承諾を得たものに限りませう。
- ・①作品タイトルや撮影場所、②採用者のお名前、③町名等を公表させていただきますので、お知らせください。
- ・写真・イラスト等データを市議会事務局（[gikai@city.nagahama.lg.jp](mailto:gikai@city.nagahama.lg.jp)）へ送信ください。（議会だよりは年4回（1月、4月、7月、11月）発行しています。掲載を希望される場合は一ヶ月前までにお申し込みください。次号は来年1月15日発行（予定）です。）
- ・採用は市議会広報広聴委員会で決定し、著作権は長浜市議会事務局に帰属します。



## 議会だより第54号(前号) 記事の訂正とお詫びにつ いて

議会だより第54号（前号）P2の掲載のグラフの数値に誤りがありました。以下のとおり訂正し、お詫びいたします。



※今号の表紙：「稲穂とノビタキ」（湖北野鳥センター付近）、小一条町 池野充和さま 提供

# 令和元年 長浜市議会 9月定例会議決結果表

## ●賛否の分かれた議案等

議案番号	案 件		政友会					新しい風					日本共産党			清流			尽誠		公明党	無	無				
			佐金 利率	千田 貞之	多賀 修平	轟 保幸	西邑 定幸	矢守 昭男	押合 與茂	竹本 直隆	中島 康雄	宮本 鉄也	山崎 正直	吉田 信夫	浅見 明男	齊藤 佳伸	高山 亨	伊藤 喜久雄	柴田 光男	藤井 登	松本 長治	草野 豊	中川 勇	丹生 隆明	鋒山 紀子	中川 リヨウ	西尾 孝之
第86号	平成30年度長浜市一般会計歳入歳出決算の認定について	賛成多数	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第87号	平成30年度長浜市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	賛成多数	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第89号	平成30年度長浜市後期高齢者医療保険特別会計歳入歳出決算の認定について	賛成多数	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第90号	平成30年度長浜市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	賛成多数	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第2号	人と自然が調和する、新たな長浜駅前の賑わいの空間を創造することへの請願書	賛成多数	○	○	○	×	-	○	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	×	○	○	○
請願第3号	消費税10%増税実施「中止」の意見書提出を求める請願書	賛成少数	不採択	×	×	×	-	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○

※表内の「○」は賛成、「×」は反対を表します。 ※議長の西邑定幸は採決に加わりません。 ※会派名の「無」は、会派に属さない議員です。

## ●全員一致で賛成可決・認定・同意・可と答申したもの

議案番号	案 件	議案番号	案 件
第62号	長浜市ながはま文化福祉プラザ条例の制定について	第100号	長浜市立学校の設置等に関する条例の一部改正について
第81号	令和元年度長浜市一般会計補正予算(第5号)	第101号	長浜市市民文化ホール条例の一部改正について
第82号	令和元年度長浜市一般会計補正予算(第6号)	第102号	長浜市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
第83号	令和元年度長浜市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	第103号	長浜市市民まちづくりセンター条例の一部改正について
第84号	令和元年度長浜市介護保険特別会計補正予算(第2号)	第104号	滋賀県市町村交通災害共済組合規約の変更について
第85号	令和元年度長浜市病院事業会計補正予算(第1号)	第105号	滋賀県市町村交通災害共済組合を解散することについて
第88号	平成30年度長浜市国民健康保険特別会計(直診勘定)歳入歳出決算の認定について	第106号	滋賀県市町村交通災害共済組合の解散に伴う財産処分について
第91号	平成30年度長浜市休日急患診療所特別会計歳入歳出決算の認定について	第107号	新市まちづくり計画の変更について
第92号	平成30年度長浜市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	第108号	合併基本計画の変更について
第93号	平成30年度長浜市病院事業会計決算の認定について	第109号	工事請負契約について
第94号	平成30年度長浜市老人保健施設事業会計決算の認定について	第110号	工事請負契約について
第95号	平成30年度長浜市公共下水道事業会計決算の認定について	第111号	財産の譲渡について
第96号	長浜市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定について	第112号	田根財産区管理会の委員の選任について
第97号	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律等の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	第116号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
第98号	長浜市印鑑条例の一部改正について	委員会提出議案第2号	長浜市議会の議決すべき事件等に関する条例の制定について
第99号	長浜市非常勤消防団員の任免、給与、服務等に関する条例の一部改正について		

## 今後の会議予定(11月1日以降)

- |                       |                           |
|-----------------------|---------------------------|
| 11月11日(月)・15日(金)      | 12月9日(月) 産業建設常任委員会、予算分科会  |
| 市民の皆さまとの意見交換会(予定)     | 12月10日(火) 健康福祉常任委員会、予算分科会 |
| 11月21日(木) 定例常任委員会     | 12月11日(水) 総務教育常任委員会、予算分科会 |
| 11月25日(月) 12月定例会開会    | 12月16日(月) 予算常任委員会         |
| 12月4日(水)～6日(金) 個人一般質問 | 12月18日(水) 12月定例会閉会        |

※(日程は変更される場合があります)  
このほかにも随時、議会運営委員会等が開催されます。詳しくはホームページまたは議会事務局でご確認ください。

## 議会の会議を 傍聴しませんか

本会議や委員会は、どなたでも傍聴することができます。市民の皆さんから選ばれた議員の活動や市政の動きを知るためにも、ぜひ傍聴にお越しください。

市議会のホームページを是非ご覧ください。

<http://www.city.nagahama.lg.jp/category/2-0-0-0-0.html>



長浜市議会 広報広聴委員会  
TEL 65-6547

◇暑かった夏もようやく一段落。台風・ゲリラ豪雨により、被害に遭われました皆さまには謹んでお見舞い申し上げます。

9月定例会では、合併後の長浜について、防犯・防災対策について、長浜市の財政計画について、プラスチックごみ問題について、今後の医療・福祉について、学校教育についてなど様々な一般質問を行いました。

行政と議会が、「住んでみたいまち長浜」を目指して、議論を重ねていくことの大切さを再確認できる定例会となりました。

本市は、まだまだ数多くの課題を抱えています。よりよい長浜にするために議員一人ひとりが努力を重ね、市民の皆さまとともに歩んでいきたいと考えています。今後ともご理解、ご協力よろしくお願いたします。

皆さまからのご意見もお待ちしています。

